

# 「王賜」銘鉄剣と允恭天皇 (倭王濟)の時代

講演 1

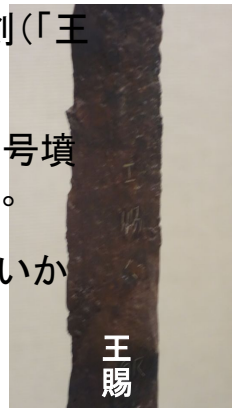
—5世紀中葉(ちゅうよう)の允恭朝は画期的時代だった—  
共立女子短期大学名誉教授 前之園 亮一 先生



千葉県市原市の稲荷台1号墳(中小の円墳)から出土した鉄剣(「王賜」銘鉄剣)に「王賜」以下推定12文字が刻まれている。

銘文の「王」は誰なのか。「王賜」銘鉄剣を下賜された稲荷台1号墳の被葬者はいかなる人物なのか。なぜ鉄剣を下賜されたのか。

鉄剣はどこで作られたのか。5世紀中葉の允恭天皇の時代はいかなる時代だったのか、ということについてお話しします。



13:30 ~ 15:30

## 12月22日(日)

### 会場

13:30スタート 13時 受付開始

当日受付 先着順 50名※定員に達し次第締め切り

としま  
区民センター  
JR線他 池袋駅  
東口より徒歩7分

豊島区東池袋1-20-10



### 参加費

全国邪馬台国連絡協議会

会員1000円 一般 1500円

※当日の入会も歓迎します

講演 2

## 金印『漢委奴国王』はそもそも存在しない?

尾関 郁 氏



後漢書・倭の節は范曄(はんよう)の作り話か

まだ金印「漢委奴国王」の真贋論争の決着が見えない中、かねがねそもそも存在しない、つまり范曄の作り話ではないかという疑念を抱いていました。浅学で根拠不十分ではありますが、『そもそも存在しない説』を皆様にご提示し、一緒に考えていきたいと思っています。



15:50 ~ 16:40

1944年東京で生。工業高校・大学(電子&法)の夜間部を出た後、大学院(政治)を履修。真説魏志倭人伝の会・古田会・先古代史の会・日本歴史文会・邪馬台国の会・東アジアの古代文化の会・古代を学ぶ会・明博弥生文化研等にて研鑽し、2017年に倭人研究会の設立に参画。作品は「三国志は一里何メートルで書かれているか」「その昔倭国と大倭国は戦いを」「神武東征物語の輸入元を見つけ」「水行」は「川を進む」と判明」「じじ(治治)論争の最終決着なるか」「三国志・倭人の節の最新解読法」を発表。著書は「情報科学と社会」(共著)・「借地借家テナントのトラブル対処法」・小説「ラスト・リベリオン」。2016年より自作【古文献一覧表】を贈呈中。